

# 桑野塾

桑野塾 検索  
http://deracine.foo.jp/kuwanojuku/

大学などの研究者に限らず、興味を持って研究していることを自由に発表しあう「広場」です。  
どなたでもご参加いただけます。  
それぞれの興味が少しずつ重なり合うことで、新たな知見を見いだそうという場です。

## 第59回

2019年  
12月21日(土)  
15:00 ~ 18:00

早稲田大学 戸山キャンパス 33号館 437号室

★ どなたでもご参加いただけます。会場に直接お越しください。**参加無料**  
☆ 終了後、近くの居酒屋で懇親会を開催します。(飲食費は別途)  
※予約の都合上、懇親会参加をご希望の方はなるべく事前にご連絡いただくと助かります。  
※報告者・タイトルは変更の可能性もあります。ご了承ください。



## 『ロマノフの消えた金塊』～地下水脈をたどって(シベリア出兵を背景に) 報告者: 上杉 一紀

日本とロシアの間には100年越しの因縁話が横たわっている。  
第一次大戦前夜、アメリカについて世界第二位の金準備高を誇っていた帝政ロシア。十月革命で、国家資産の金貨金塊は一夜にしてボリシェヴィキ政権に押収された。だが、戦火を避けてカザン市で保管中だった金準備は、シベリア出兵開始のタイミングで、白軍にほぼそっくり奪われた。西シベリアの白系政府の手に落ちた金貨金塊の総量は実に500トン。これが白軍対赤軍のシーソーゲームのなかで四散する……。  
ソ連崩壊後のロシアでは、日本が金塊のかなりの部分を持ち去ったとの見解が浮上した。果たして真相はどうか。地下水脈となってシベリア東部へと流出したロマノフ王朝の金塊の行方を、専らオープンソースを手掛かりにとことん探る……。  
なお、報告は12月に東洋書店新社から刊行予定の同名書をベースに行う。



白軍にほとんど奪われたボリシェヴィキ政府の金貨(カザン保管庫)



ロマノフの金塊500トンを金準備とした白系全ロシア政府(オムスク)の最高統帥官  
コルチャーク提督



金塊流出に深く関与した  
ザバイカルコサックの頭目  
セミョーノフ

●上杉 一紀(うえずぎ かずのり)  
一九五三年札幌生まれ。早大法学部卒。北海道テレビ放送入社。  
主に報道畑を歩き、ニュース、ドキュメンタリーの制作にあたる。  
旧ソ連の閉鎖都市ウラジオストクを西側テレビ記者として初取材。  
マニラ特派員(ANN系列)、報道部長、取締役、映像制作会社代表等を務めた。  
著書に『ロシアにアメリカを建てた男』(旬報社)、  
番組に『霧の日記~アリュージェンからの伝言』(民放連賞テレビ教養部門最優秀作)ほか。

## 日本バレエ教育史の転換点 チャイコフスキー記念東京バレエ学校(1960-1964)とソヴィエト・バレエ 報告者: 斎藤 慶子



東京バレエ学校の開校を伝える新聞記事  
林得一「チャイコフスキー記念」『ソヴィエト文化』1960年、94号

チャイコフスキー記念東京バレエ学校は、日本初の総合的な教育を行うバレエ学校として、1960年5月東京都世田谷区に設立された。冷戦構造を背景として実現した学校設立の経緯、学校で行われた教育活動の詳細、日本が影響を受けることになったソ連バレエ普及政策の仕組みについて未公開資料や関係者へのインタビューを基につづった博士論文(2019年1月博士号(文学)取得、早稲田大学)から、報告を行う。今でこそその存在さえ忘れかけられている東京バレエ学校だが、まさにここにおいて職業的バレエ教育が日本で初めて紹介されたのである。  
博論の成果の一部は、『「バレエ大国」日本の夜明け チャイコフスキー記念東京バレエ学校1960-1964』と題して、文藝春秋企画出版部から2019年12月に刊行が予定されている。

●斎藤 慶子(さいとう けいこ)

研究テーマは日露バレエ交流史。リムスキー=コルサコフ記念サント・ペテルブルグ国立音楽院舞踊学部歴史・批評学科卒。早稲田大学大学院文学研究科博士後期課程  
人文科学専攻ロシア語ロシア文化コース退学。博士(文学、早稲田大学)。現在は、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター学術研究員を務める。